

化学生物総合管理学会 第11回学術総会

「感染症のリスクの制御の現状と今後の展望」

日時：2014年9月25日（木） 10:00～18:00

会場：お茶の水女子大学 共通講義棟1号館 304室
（東京都文京区大塚2-1-1）

東京メトロ丸の内線「茗荷谷」駅より徒歩7分

東京メトロ有楽町線「護国寺」駅より徒歩8分

《開催案内》

最近、エボラ出血熱などの話題が世界で持ちあがっている中、今年度の学術総会では、企画テーマとして「感染症のリスクの制御の現状と今後の展望」を設定し、感染症を巡る内外の情勢と日本の対応、感染症の制圧を目指した内外の取組み、国内外における薬剤耐性菌の状況、動物薬を巡る内外の現状と今後の対策をテーマに国立感染症研究所や岐阜大学大学院連合獣医学研究科から講師をお招きして、講演を行う。

また、当学会では、化学物質や生物などの総合管理の発展に資する活動及びそれらに係る教育の発展に資する活動を奨励する制度を設けており、学術総会において奨励賞を伝達するとともに、奨励賞受賞記念講演を行う。武田薬品工業に奨励賞を授与し、エビデンスに基づく環境と化学物質管理の取り組みの講演を行う。

併せて、一般発表も行う。化学物質や生物によるリスクのみならず、幅広いリスクの評価や管理に日々の業務や研究で携わっている方々、また、こうした事柄に関心を有する方々が、日頃の成果や論考の結果を発表する機会として、また、喫緊の課題について考える機会として活用することを期待している。多数の方々の発表と参加を期待する。

《プログラム概要》

開会挨拶

奨励賞伝達式

奨励賞受賞記念講演 武田薬品工業株式会社

田坂 昭弘 環境安全管理室 室長

企画テーマ「感染症のリスクの制御の現状と今後の展望」

渡邊 治雄 国立感染症研究所 所長

西條 政幸 国立感染症研究所 ウイルス第一部 部長

柴山 恵吾 国立感染症研究所 細菌第二部 部長

浅井 鉄夫 岐阜大学大学院 連合獣医学研究科 教授

一般発表

プログラム詳細は次ページ参照

更に詳細はホームページ<http://www.cbims.net/> から第11回学術総会に進んでください。

★参加登録[事前登録制]：学会の会員以外の方も参加歓迎 ★参加費：無料（会員）、1,000円（非会員）

★参加希望の方は、①参加者氏名、②所属（勤務先など）、③懇親意見交換会参加有無（参加費2,000円）

を明記のうえ、E-mailにて申し込み下さい。

化学生物総合管理学会

〒112-8610 東京都文京区大塚2-1-1 お茶の水女子大学ライフワールド・ウォッチセンター内

(TEL) 03-5978-5096 (E-mail) cb-jim2@cbims.net

■ プログラム ■

時間	議題・演題	発表者(敬称略)・所属
10:00	開会挨拶	増田 優 化学生物総合管理学会会長
10:00~10:15	奨励賞伝達式	武田薬品工業株式会社
10:15~12:15	企画テーマ「感染症のリスクの制御の現状と今後の展望」(1)	
10:15~11:15	感染症を巡る内外の情勢と日本の対応	渡邊 治雄 国立感染症研究所 所長
11:15~12:15	感染症の制圧を目指した内外の取り組み —ポリオ・天然痘と結核の事例を検証する—	西條 政幸 国立感染症研究所 ウイルス第一部 部長
12:15~13:00	昼食休憩	
13:00~14:00	奨励賞受賞記念講演	
	武田薬品の環境と化学物質管理の取り組み —エビデンスに基づく管理を目指して—	田坂 昭弘 武田薬品工業株式会社 環境安全管理室 室長
14:00~16:00	企画テーマ「感染症のリスクの制御の現状と今後の展望」(2)	
14:00~15:00	国内外における薬剤耐性菌の状況	柴山 恵吾 国立感染症研究所 細菌第二部 部長
15:00~16:00	止むことのない耐性菌との戦い —動物薬を巡る内外の現状と今後の対策—	浅井 鉄夫 岐阜大学大学院 連合獣医学研究科 教授
16:00~16:15	休憩	
16:15~17:30	一般発表	
16:15~16:40	国際合意への対処の内閣主導の必要性	星川 欣孝(会員)
16:40~17:05	化学物質総合管理に関する企業活動の評価 —2013年度評価結果の概要	三上 奈緒子(会員)
17:05~17:30	化学物質総合管理に関する企業活動の評価 —2007年度~2011年度の推移の要因と背景	榎 尚史(会員)
17:30~18:00	質疑および総合討論	
18:00	閉会挨拶	
18:30~20:30	懇親意見交換会(会費制)	

題名、発表順は都合により変更になる場合があります。